

特 別 仕 様 書

第1節 総 則

第1-1 適 用

- 1 本工事の施工にあたっては、広島県制定の「土木工事共通仕様書」（以下「共仕」という）に基づいて実施する。同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第1-2 現場管理

- 1 受注者は、豪雨、出水、その他天災に対しては、平素から天気予報などについて十分な注意を払い、常にこれに対処できるように準備しておかなければならない。
- 2 受注者は、工事中周辺住民等から苦情又は意見等があったときは、丁寧に応対し、ただちに監督員に報告しなければならない。

第2節 材 料

第2-1 適 用

- 1 工事に使用する材料は、設計図書に規定されていない材料については、日本工業規格（以下「J I S」という）に合格したもの又は、これと同等以上の品質を有するものでなければならない。

第3節 一般施工

第3-1 コンクリート工

- 1 設計図書に明示されていないものについては、土木学会制定「コンクリート標準示方書」による。
- 2 本工事に使用するコンクリートの配合条件は、下表のとおりとする。

名 称	セメント使用	スランプ	骨材最大	適 用 部 材
強度=18N/mm ²	高炉セメント B 種	8cm	40mm	無筋構造物（コンクリート壁・水槽・側溝・ 胴込・裏込コンクリート・ブロック基礎・均 しコンクリート等）
強度=24N/mm ²	高炉セメント B 種	8cm	20mm	鉄筋構造物（ボックスカルバート・床版等）

- 3 本工事に使用するコンクリートは、鉄筋構造物のコンクリート（呼び強度 24）の水セメント比については 55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度 18）の水セメント比は 60%以下とすること。

第3-2 仮設工

- 1 仮締切、仮排水路は、受注者の責任において適切な維持管理をしなければならない。
- 2 受注者は汚濁水の流出等不測の事態が生じた場合は、監督員及び関係者に速やかに連絡するなど迅速に対処しなければならない。

第3-3 開水路工

- 1 基礎砕石は、鉄筋組立及び底版コンクリート打設に支障を与えないように平坦に仕上なければならない。